

【代表的な研究テーマ】

□ 性別・多様性に配慮した防災と災害対応の研究

□ 災害につよい地域社会の研究

キーワード：災害時のニーズ、地域防災、性別、多様性

研究の概要

1. 性別・多様性に配慮した防災と災害対応の研究

東日本大震災以降、災害への備えや災害時の被災者支援に男女共同参画と多様な立場の人々の視点が導入されるようになってきました。自主防災組織、避難所運営の備え、防災訓練などにおいて、具体的にどのような体制が有効か、どうすれば地域で実践しやすくなるのかについて、被災地の支援状況などの調査に基づき研究しています。

また、地域の防災活動へ、女性や若い世代が関心を持って参加できるためには、どのような仕組みや研修が有効かについても研究しています。



2. 災害につよい地域社会についての研究

性別や年齢、障害の有無など、被災者がおかれた立場別に被害や復興の状況を把握し、被害の格差が生じた原因を研究しています。成果を、災害に強い社会づくりに反映することが目的です。

多様な人々の視点を取り入れた防災・減災の取り組みを応援します！

1. 自主防災組織(地域の防災の担い手のみなさま)向けの講座・ワークショップ

例：中原自治会(静岡市駿河区)のワークショップ(静岡市女性団体連絡会との連携事業)

①コロナ禍における避難所利用のルールづくり、②避難行動要支援者の避難対策

2. 自治体職員(危機管理担当、人権・男女共同参画関担当など)研修

例：国立女性教育会館「男女共同参画の視点による災害対応研修」

https://www.nwec.jp/event/training/g_saigai2020.html

3. 自治体の防災体制づくり

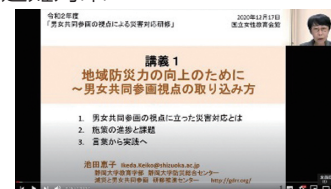
例：佐賀県立男女共同参画センター「男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営の手引き」作成アドバイザー

4. 防災の担い手育成・一般市民向け研修

例：静岡市女性会館 Jo-shizu 防災講座、ふじのくに防災士講座
静岡県地域で活躍する女性防災リーダー育成事業

5. 防災教材の作成

例：京都府・市 男女共同参画センター 避難所運営カードゲーム



社会連携へ向けたアピールポイント

地域創造学環

■ その他の社会連携活動

- ・外務省「女性・平和・安全保障に関する行動計画 評価委員会」委員(2016年～)
- ・静岡県社会福祉協議会 地域づくり推進委員会 委員長(2018年～)
- ・減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表(2014年～)

■ 相談に応じられる関連分野

- ・防災にかかわる研修講師の育成(TOT)
- ・防災を切り口にした学校と地域の連携
- ・災害時の女性と子どもの安全対策



池田 恵子
学術院教育学領域
地域創造学環
教授